日本計量新報

計測と科学

日本計量新報社

9月の計量計測機器生産

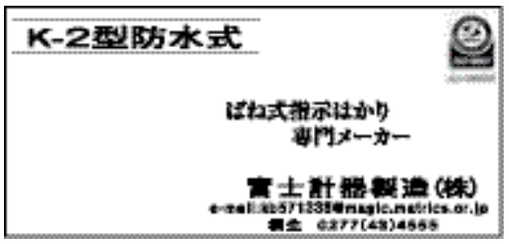
電気計測器593億円、分析機器は25・5％増

精密測定機器4・3％減に

経済産業省が11月13日に公表した9月の機械統計確報によると、計量計測機器の生産額はおもなところで前年同月比で増えたのは、工業用長さ計2・1％増、分析機器で25・5％増、ガスメータが31・5％増、医用測定器9・4％増、試験機で103・0％増、測量機器13・1％増である。減ったのは電気計測器は9・2％減、工業用計重機1・7％減、精密測定機器4・3％減。精密測定機器が減速している。

電気計測器は9・2％減

電気計測器の9月の生産額は機械統計確報では561億4300万円。㈳日本電気計測器工業会のまとめでは、593億3400万円（集計項目が少し異なるため）である。工業会のまとめによると電気測定器が344億4000万円（前年同月比22・4％減、以下カッコ内は前年同月比）。電気測定器の内訳を見ると、電圧・電流・電力測定器は12億7700万円（27・3％増）、波形測定器17億2600万円（10・3％減）、無線通信測定器17億7900万円（48・4％減）、回路素子・材料測定器3億8600万円（63・9％減）、伝送特性測定器9億6900万円（20・2％増）、光測定器7億2600万円（22・3％減）、測定用記録計・データ処理装置8億1000万円（3・0％増）、その他の電気測定器53億8300万円（20・6％増）である。



半導体・IC測定器は213億9300万円

生産金額で電気測定器の62・1％を占める半導体・IC測定器は9月は、生産金額は213億9300万円（28・5％減）となった。前月比では2・8％減。9月の生産数量は1151台。このなかではメモリICテスタの生産額が75億3200万円（27・6％減）となっており、半導体・IC測定器の35・2％を占めるだけに影響が大きい。

電気計測器の工業用計測制御機器は183億3900万円（33・1％増）と好調である。前月比は85・0％増。内訳は、プロセスオートメーション用計測制御機器181億3600万円（36・2％増）、ファクトリーオートメーション用計測制御機器は2億300万円（56・0％減）と厳しい状況だ。

電気計器は33億6400万円（5・0％減）。内訳は、指示計器が5億1000万円（10・2％増）、電力量計が28億5400万円（7・3％減）。放射線測定器は11億1200万円（32・4％減）である。

環境計測機器は3・1％増

環境計測機器は20億7900万円（3・1％増）。内訳は、大気汚染、水質汚濁、騒音・振動計測器20億1600万円（3・8％増）、自動車用公害測定機器6300万円（16・0％減）。

（次号以下につづく）

今週の主な記事

9月の計量計測機器生産、2007分析展開催決定　①面
近畿計量大会特集　②③面
全国の計量記念日行事(8)　④面
鎌長製衡・金本社長インタビュー(3)　⑤面
計量計測の美しい流れを訪ねて(15)　⑤面
大臣表彰受賞者紹介(3)、はかってみようコンテスト受賞者、ほか　⑥面
天空への天使(5)、社説　⑦面
新製品ニュース、堀場雅夫氏が受賞の喜び、ほか　⑧面

計量記念日特集(7)

近畿計量大会特集　②③面

アジア最大の分析関連専門イベント

「2007分析展」8月29日～31日

07年2月1日から出展申込受付

アジア最大の分析関連専門イベントであり、質の高いビジネスチャンス、専門分野の商談の場として注目される「2007分析展」（第45回）が、2007年8月29日㈬から31日㈮の3日間、千葉県の幕張メッセ国際展示場4、5、6ホールで開催される。入場料は無料。来場者に『分析機器総覧』などを無料配付する。07年2月1日から出展申込を受け付ける。主催は、㈳日本分析機器工業会（矢嶋英敏会長）。

分析展は、1962年（昭和37年）に東京都立産業会館大手町館で第1回を開催以来、本年で45回目の開催となる。

今回のキャッチフレーズは「分析が拓く技術の扉」（Analysis leading the way with new technology）。同会は、基礎から最先端・最新の分析技術まで、環境分野からライフサイエンスまで様々な分野に貢献する分析技術を一同に展示し、「分析」に関して日本最大規模の総合展示会を企画している。

「JAIMAコンファレンス」は、コンファレンスの性格を学術的、技術指向からマーケティング、人材育成等の企業活動に関連するテーマを含む内容になる。開催日数も昨年に引き続いて4日間とし、分析展の前日から開催される。

㈳日本分析化学会と共同する「東京コンファレンス」も併せて開催される。産学連携の新情報や分析手法の基本原理を中心としたテーマが予定されている。

「新技術説明会」「研究機関コーナー」を例年通り実施するほか、受託分析、二次標準物質などに携わる企業が出展する「ソリューションコーナー」が設けられる。

開催概要などは、http://www.ia.imasho w.jp/index.htmlで見ることができる。

【問い合わせ先】同会2007分析展委員会事務局（担当：小川・木村）＝〒101－0054、東京都千代田区神田錦町1－10－1、サクラビル3F、電話03－3292－0642、FAX03－3292－7157、電子メールwebmaster@ia.ima.or.jp

湿度の校正はSATOへ
㈱佐藤計量器製作所
JCSS 高崎工場　松任技術課
〒801-4001 本社　〒809-8001 高崎工場